



■ 「子どもたちから見た岩小のよさ」

- ① 「生活の3本柱」がしっかりできる
- ② スマイル（笑顔があふれる学校）
- ③ 学年を越えてなかよし・やさしい
- ④ みんな明るくて元気
- ⑤ 児童会活動
- ⑥ 学校目標「ひとりになれる ひとつになれる」



< 学校教育目標 >

ひとりになれる ひとつになれる

※「ひとりになれる ひとつになれる」の具体の姿
10年後の子どもたちに必要な力く挑む、わたし！、夢中、らしく、誰とでも>と捉え、その実現を目指す。

■ 「R4学校評価」「R4全国学調質問紙」から

- 岩小らしい特色ある授業や行事が進んでいる
- 「自分らしさ」「誰とでも」が魅力的な子ども
- △ 総合的な学習の時間で課題をもって調べる
- △ 授業の終わりの振り返りの充実
- △ 主体的に取り組む家庭学習への転換

■ 10年後の子どもたちに必要な力 ■

いどむ

失敗を恐れず、あきらめずにチャレンジ

わたし！

自分の考えをもち、自ら判断し自ら行動

むちゅう

とことん考え、とことん浸り込む

らしく

自分の夢をもち、自分のよさを大切に

だれとでも

自分とは違う他者を認め、協働できる



重点1：子どもの主体性を育む学習

取組①：「自分の考えをもち」授業

② ③

- ・きれいなノート→思考の過程が残るノートづくり
- ・発表会→自分の言葉で練り合うペアグループ学習
- ・汎用性ある深い知識へ高める「振り返り」
- ・自問「子どもの脳はアクティブに働いているか」
- ・個の進度を尊重した自由進度学習（漢字、教科）

取組②：学級の宝「楓の時間」の充実

④ ⑤

- ・子どもの願いや問いから始まる生活科総合学習
- ・「楓の日」「楓の時間」のダイナミックな学び

取組③：家庭学習の転換（自主学习へのシフト）

⑥

- ・複数回挑戦できる「漢字算数チャレンジテスト」
- ・「定着」「積み上げ」という学力観からの転換

重点2：ちがいに寛容な心が育つ教室

取組① ちがいに学び合う教室

② ③

- ・自分とちがう考え・やり方・スピード・好き嫌いを知り、ちがいから学び合う学級経営
- ・「わからない・教えて」が言え、聞き合える教室
- ・異年齢の中で芽生える自立・愛情・信頼・憧れ
- ・特支 CO から学ぶ特別支援教育（職員会）

取組② 複数教員による授業づくり

④ ⑤ ⑥

- ・「教科担任制」…教師の専門性や指導の違いから子らの興味関心広げ、多面的な子ども理解促進

取組③ 多様な大人と学ぶ場づくり

⑦ ⑧

- ・岩村田を愛する大人に学ぶ「岩村田学」
- ・「まちゼミ」を発展させたキャリア教育構築

重点3：子どもが企画運営する教育活動

取組① 生活の3重点「あいさつ」

② ③ ④

- 生活の3重点「靴そろえ」
- 生活の3重点「清掃無言」の子どもの主導
- ・「地域での姿」が主体性の現れ(ゴール)と据える
- ・子どもたちが据えたスローガン、テーマの重視
- ・やり甲斐が感じられる評価への支援

取組② 子どもたちが創る児童会活動・学校行事

⑤

- ・子どもたちの発想や願いから始める行事企画（児童集会(月2回)、音楽会・運動会、・・・)
- ・なかよし学級(ペア)の友だちとの育ち合い

取組③ ICTを活かした発表の場づくり

⑥ ⑦ ⑧

- ・子どもの好き・楽しいを企画化（動画/P P等）

- 学校運営を支える教師の構え：① 「子どもの主体性を育む」「主人公は子ども」という目的を達成するための伴走者（指導者でなく）という意識を常に大切にします。
② 「子どもの主体性を育む」ために「教師も主体的・個性的」であることを目指し、自分の考え判断を生かした「挑戦」を続けていく。